

株主のみなさまへ

第102期 報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、罹患された方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早く感染が収束することを願っております。

ここに当社グループの第102期（2021年3月期）の営業概況をご報告し、次期の見通しについてご説明させていただきます。ご一読を賜り、当社へのご理解を一層深めていただければ誠に幸いに存じます。

2021年6月

代表取締役社長 **片岡 和喜**



第102期の営業概況

当連結会計年度における国内経済は第4四半期に入り改善が見られましたが、通期では新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の制限により、製造業はもとより産業全般で業績低迷が見られました。世界経済においても、国内同様、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け、一部を除き各国経済はマイナス成長に陥る状況となっております。

このような状況の中、当社グループはWEBミーティングシステムを活用した販売手法を実行するとともに、製品開発に注力してまいりました。しかしながら、売上構成比の高い電子・半導体業界における売上高は前期から減少いたしました。また、輸送機器業界、機械業界向けの関連工具は、第2四半期まで続いた自動車等の生産減により、関連工具の販売は両業界ともに前期を大きく下回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、301億43百万円(前期比14.6%減)となりました。利益面におきましては、営業損失7億32百万円、経常損失3億37百万円となり、親会社株主に帰属する当期純損失は3億31百万円となりました。

期末配当は1株当たり3円を実施し、中間配当の同3円と合わせ、年間配当額は同6円となりました。

次期の見通し

次期につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ不透明であり、各国においても経済対策やワクチン接種などを実施しておりますが、一部の業種を除き、経済活動の抑制は継続するものと思われま

このような状況の中、当社グループは、活況な携帯端末などの通信機器及び液晶画面関連や自動車・機械部品関連などの各業種に対して、2021年3月に再編が完了した国内生産拠点を最大限に活用し、増拡販を目指してまいります。また、自動車及び機械部品関連業種につきましては、EV化により需要が見込める軸受や省力化機器にも用いられる各種歯車加工用工具の安定供給に向けた生産の取り組みも継続してまいります。

開発面においては、2021年1月に新規立ち上げ、再編を行った開発・技術サポート・工程改善などに関する各部門を活用して、顧客や市場の変化に対応した製品開発のスピードアップを図ります。

海外においては、欧州地域の販売体制強化と旭ダイヤモンドヨーロッパの再建計画を着実に実行し、増拡販を目指してまいります。

当社グループが一丸となり、新規顧客の獲得、新製品の投入に注力し、売上と利益の増加を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第103期の連結業績予想 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

売上高	35,000百万円	(当期比 16.1%増)
営業利益	1,190百万円	
経常利益	1,290百万円	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,140百万円	
年間配当金	1株当たり8円	(中間4円、期末4円)

※ 当報告書に記載の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンドおよびCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったものづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

電子・半導体業界

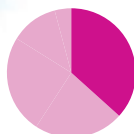
Electronics and Semiconductor

新型コロナウイルス感染症拡大によるテレワークや在宅勤務などの増加に伴い、関連機器の生産が増えましたが、太陽電池向け関連工具の販売が大きく減少し、売上高は110億70百万円（前期比2.8%減）となりました。



売上構成比

36.7%

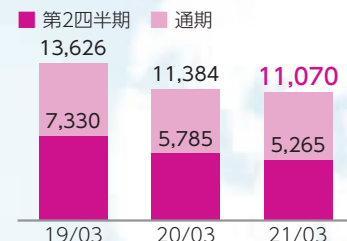


売上高

11,070百万円



売上高（単位：百万円）



輸送機器業界

Transportation

自動車業界では、第3四半期後半より回復が見られたものの、通期の生産台数は前期を下回りました。また、航空機業界においても、各国で行われている移動制限等の影響から関連工具の販売が大きく減少し、売上高は68億円（前期比22.4%減）となりました。

売上構成比

22.6%

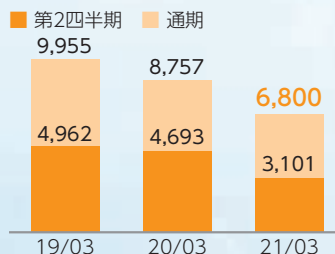


売上高

6,800百万円



売上高（単位：百万円）



機械業界

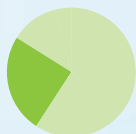
Machinery

軸受や工作機械業界では、自動車等の輸送機器や一般産業用の生産が大きく減少し、超硬工具業界においても自動車・機械部品の需要減により生産が減少したことにより関連工具の販売が大きく減少し、売上高は74億60百万円（前期比16.9%減）となりました。



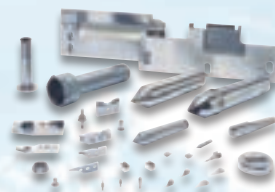
売上構成比

24.7%

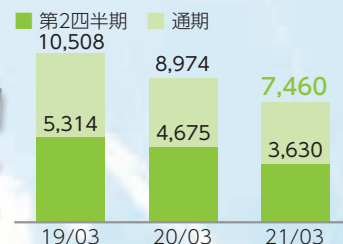


売上高

7,460百万円



売上高（単位：百万円）



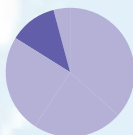
石材・建設業界

Stone and Construction

新製品の市場投入により道路補修用工具は増販となりましたが、公共・民間ともに工事量の減少が続き、関連工具の販売が大きく減少し、売上高は36億35百万円（前期比19.3%減）となりました。

売上構成比

12.1%

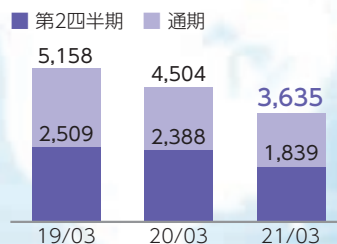


売上高

3,635百万円



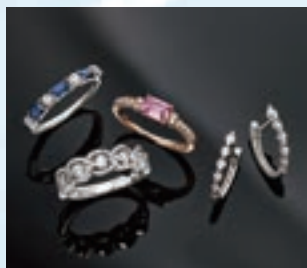
売上高（単位：百万円）



その他

Other

大学、研究機関、窯業および宝飾等上記以外の業種への売上高は11億76百万円（前期比30.1%減）となりました。



売上構成比

3.9%

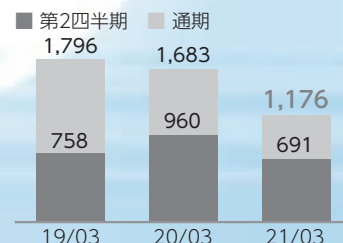


売上高

1,176百万円



売上高（単位：百万円）

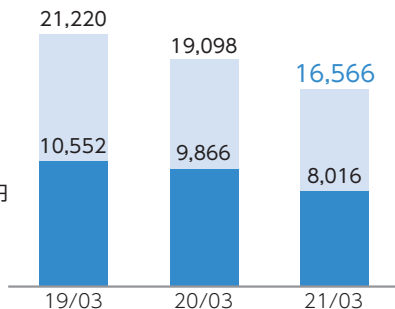


日本

(単位:百万円)

■ 第2四半期
■ 通期

売上高
16,566百万円
売上構成比
55.0%

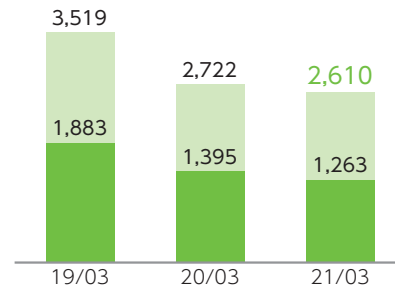


台湾

(単位:百万円)

■ 第2四半期
■ 通期

売上高
2,610百万円
売上構成比
8.7%

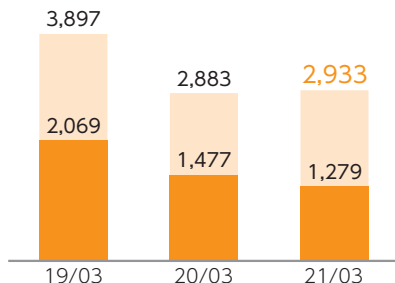


中国

(単位:百万円)

■ 第2四半期
■ 通期

売上高
2,933百万円
売上構成比
9.7%

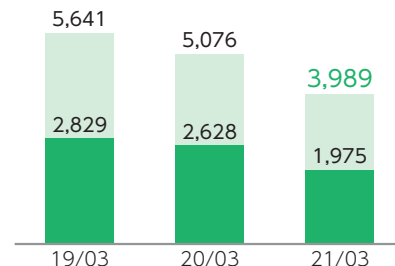


その他アジア・オセアニア

(単位:百万円)

■ 第2四半期
■ 通期

売上高
3,989百万円
売上構成比
13.2%

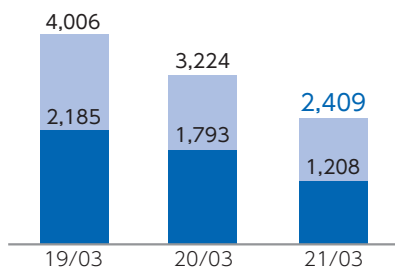


ヨーロッパ

(単位:百万円)

■ 第2四半期
■ 通期

売上高
2,409百万円
売上構成比
8.0%

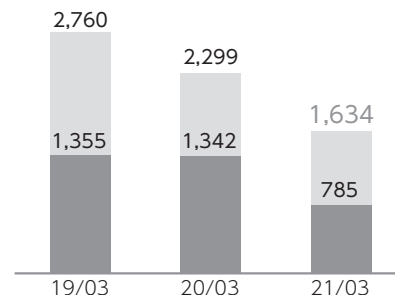


その他

(単位:百万円)

■ 第2四半期
■ 通期

売上高
1,634百万円
売上構成比
5.4%

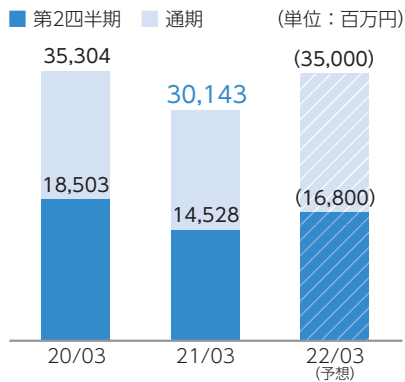


当期の
業績のポイント

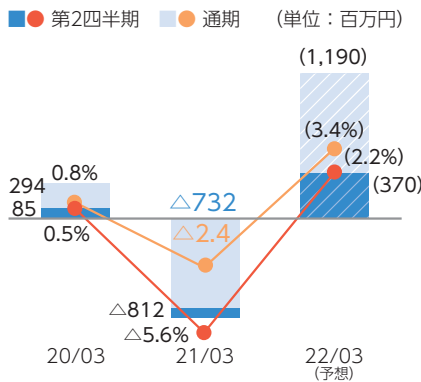
売上高
経常損失
親会社株主に帰属
する当期純損失
年間配当金

30,143百万円 (前期比 14.6% 減↓)
337百万円
331百万円
6円 (前期比 4円 減↓)

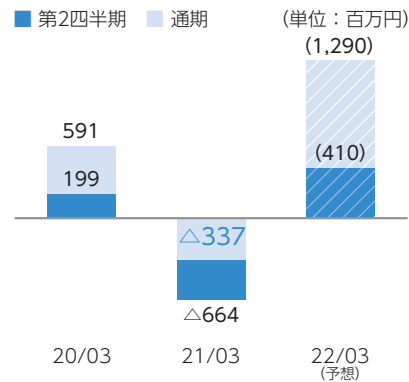
売上高



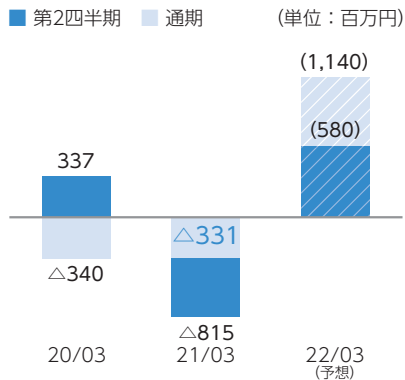
営業利益(△損失)及び売上高営業利益率



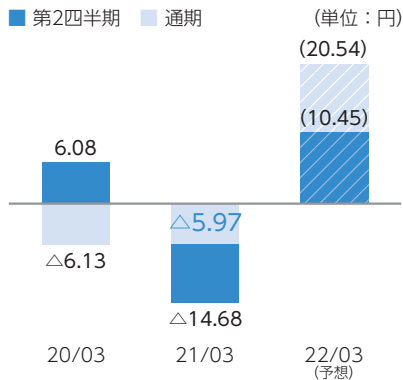
経常利益(△損失)



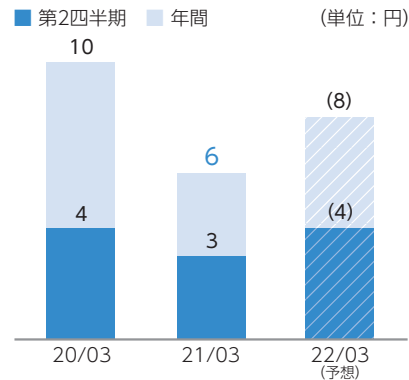
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益(△純損失)



1株当たり当期(四半期)純利益(△純損失)



1株当たり配当金



「中期経営計画2022」の重点テーマの進捗状況

2020年5月に策定しました2022年度を最終年度とする

「中期経営計画2022」における3つの重点テーマの進捗状況をご報告します。

1 高度専門化する顧客ニーズへの一貫対応

業界や製品の軸のもとでの一貫対応を行うべく4つのプロジェクトを立ち上げ、市場（業界）動向や顧客ニーズに対し、速度感を持った対応を図るために、これに沿った組織・体制を整備しております。



バックグラインディングホイールは半導体用シリコンウエーハの裏面研削に使用する工具



ロータリドレッサは軸受（ベアリング）を加工する砥石を成形するのに用いる工具



CMPコンディショナはウエーハを鏡面加工するウレタンパッドの表面を最適な状態に整える工具



薄刃カッタはパッケージされた電子部品を精密に切断するための工具

2 グローバル展開の最適化と加速

グローバル展開の最適化の1つとして、旭ダイヤモンドドイツを直接子会社化し、ドイツはもとより東欧地域の営業体制強化と欧州全体の営業機能の再構築を行っております。また、社外提携による製品補完と販売網の相互活用を進め、販売面における機能強化に努め、当社グループの最適化と併せ、グローバル展開を加速してまいります。



旭ダイヤモンドドイツ

3 経営インフラと管理体制の強化

重点テーマを戦略的に進めるため、人材育成はもとより、あらゆるデータを有効活用する必要があります。ITシステムの構築・運用・管理を行うため、担当部署を創設し、IT機能強化に取り組んでおります。また、国内外子会社管理を担うグループ会社統括本部を創設し、グループ全体のガバナンス強化を進めてまいります。

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当期 2021.3.31	前期 2020.3.31
資産の部		
流動資産	27,161	32,762
固定資産	40,982	37,245
有形固定資産	26,535	23,644
無形固定資産	228	195
投資その他の資産	14,219	13,405
資産合計	68,144	70,007
負債の部		
流動負債	4,299	4,479
固定負債	6,547	8,694
負債合計	10,847	13,174
純資産の部		
株主資本	53,571	54,404
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	42,490	43,323
自己株式	△ 150	△ 150
その他の包括利益累計額	2,398	1,107
その他有価証券評価差額金	2,719	1,450
土地再評価差額金	196	196
為替換算調整勘定	△ 637	△ 496
退職給付に係る調整累計額	119	△ 41
非支配株主持分	1,327	1,321
純資産合計	57,297	56,833
負債純資産合計	68,144	70,007

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2020.4.1 から 2021.3.31 まで	前期 2019.4.1 から 2020.3.31 まで
売上高	30,143	35,304
売上原価	23,741	27,086
売上総利益	6,401	8,218
販売費及び一般管理費	7,134	7,923
営業利益又は営業損失 (△)	△ 732	294
営業外収益	414	399
営業外費用	19	101
経常利益又は経常損失 (△)	△ 337	591
特別利益	214	582
特別損失	258	1,088
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失 (△)	△ 381	86
法人税等	△ 73	373
当期純損失 (△)	△ 307	△ 287
非支配株主に帰属する当期純利益	23	52
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 331	△ 340

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2020.4.1 から 2021.3.31 まで	前期 2019.4.1 から 2020.3.31 まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 90	4,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,289	△ 4,990
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 604	△ 732
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 50	54
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 5,035	△ 863
現金及び現金同等物の期首残高	15,685	16,548
現金及び現金同等物の期末残高	10,649	15,685

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 → <https://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR

株式の状況

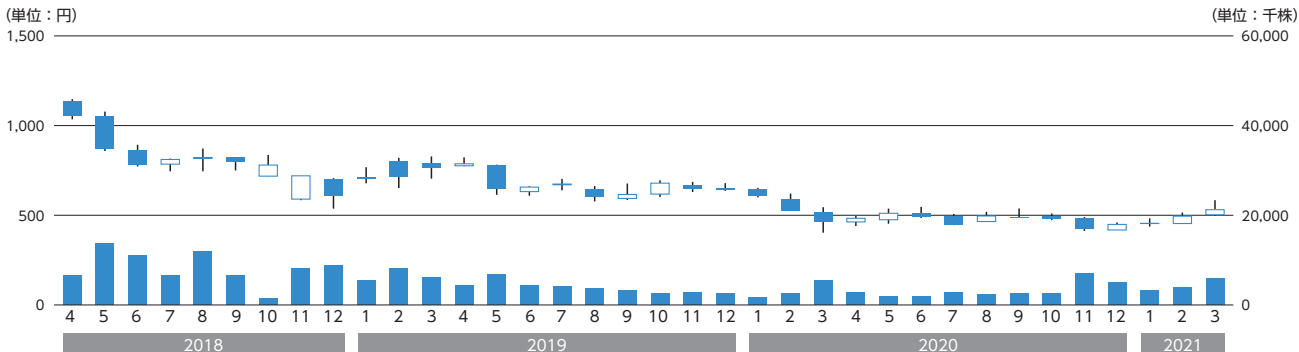
発行可能株式総数 190,300,000株
 発行済株式の総数 55,700,000株
 株主数 13,808名

大株主 (上位10名)

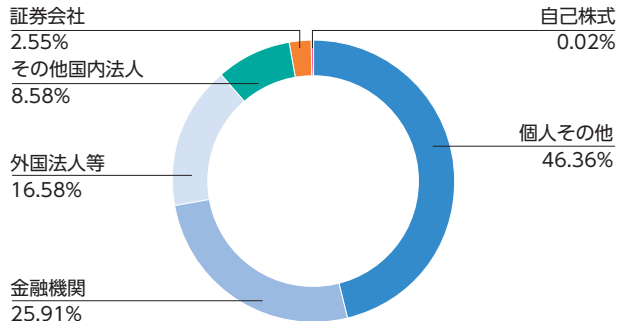
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,910	7.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,234	4.01
旭ダイヤモンド社員持株会	1,824	3.28
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,813	3.26
株式会社三菱UFJ銀行	1,384	2.49
ユニオンツール株式会社	1,310	2.35
三井住友信託銀行株式会社	1,270	2.28
旭ダイヤ共栄持株会	1,186	2.13
日本生命保険相互会社	1,039	1.87
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	910	1.64

(注)1. 持株比率の計算は、自己株式9,907株を除いて計算しております。
 (注)2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

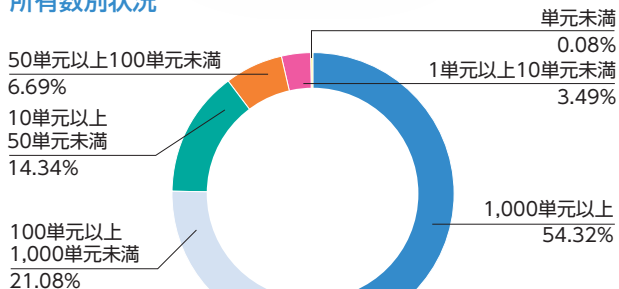
株価・出来高推移



所有者別状況



所有数別状況



会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号
 設立年月日 1937年10月9日
 資本金 4,102,188,450円
 従業員数 1,010名 (連結 2,050名)

役員 (2021年6月25日現在)

取締役

代表取締役社長	片岡和喜
代表取締役常務	粉川和勇
常務取締役	藍敏雄
取締役	萩原利昌
取締役	阿部英夫
取締役	原智彦
社外取締役	小山修
社外取締役	永田新一
社外取締役	市川祐子

監査役

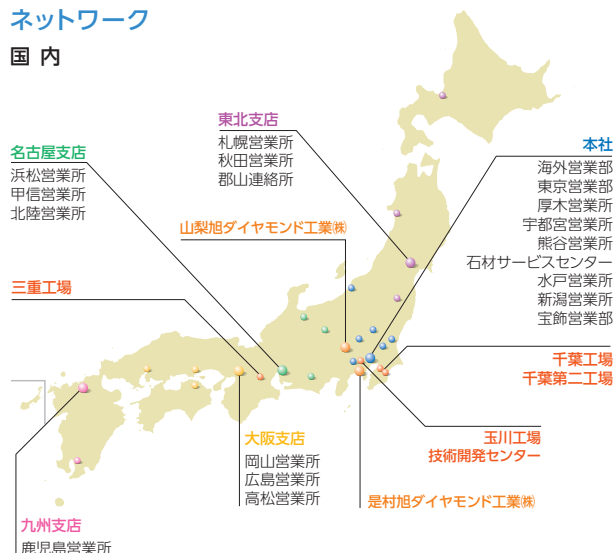
常勤監査役	香山盛夫
社外監査役	大高由紀夫
社外監査役	川嶋誠人

執行役員

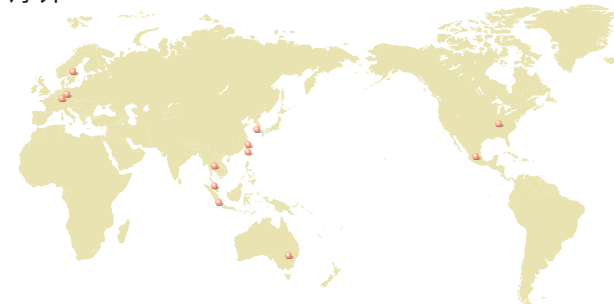
執行役員	谷口和昭
執行役員	望月政司
執行役員	松田順一
執行役員	松川英樹
執行役員	小浦雅美
執行役員	佐藤公一
執行役員	澤田穰
執行役員	日下部均
執行役員	川合宏明

ネットワーク

国内



海外



海外グループ会社	上海旭ダイヤモンド工業 (中国)
	台湾旭ダイヤモンド工業 (台湾)
	新韓ダイヤモンド工業 (韓国)
	旭ダイヤモンドタイランド (タイ)
	旭ダイヤモンドインドネシア (インドネシア)
	旭ダイヤモンドマレーシア (マレーシア)
	旭ダイヤモンドオーストラリア (オーストラリア)
	旭ダイヤモンドアメリカ (アメリカ)
	旭ダイヤモンドメキシコ (メキシコ)
	旭ダイヤモンドヨーロッパ (フランス)
	旭ダイヤモンドドイツ (ドイツ)
	旭ダイヤモンドスカンジナビア (スウェーデン)

株主メモ

決算と配当金のお支払	毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。
定時株主総会	毎年6月下旬に開催いたします。
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.asahidia.co.jp/)但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <https://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

